

鳥取・島根エリア マスタープラン

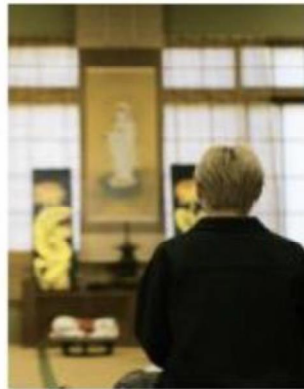
2024/2/29

鳥取・島根エリアの戦略ターゲット

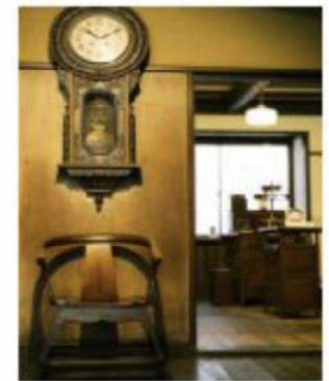
- コアバリューとの相性が良い **Special Luxury Interest層** (特定の趣味や関心を旅の目的とする行動派の富裕層)
- ・ 現代アート、民芸、食に至るまであらゆる視点でアートを求める **Art Lover層** (アート/文化好き層)
 - ・ 精神的な豊かさを大切にする生き方を求める **SBNR層** (無宗教型スピリチュアル層)

⇒ 「どのような旅人に来てもらい、どのような地域にしていきたいか」という地域の暮らし目線でターゲット像を精緻化

SBNR層



Art Lover層



鳥取・コアバリュー

SPIRIT/HERITAGE

神話と修験との境界
「はじまりの地」

参拝により「六根（眼、耳、鼻、舌、身、意）」を清め、
湯治により「六感（観、聴、香、味、触、心）」を癒す（日本遺産）

三徳山
六根清浄

神話の地
神坐す大山

妖怪

The EDGE, TOTTORI
土地や文化の先端/境界は他にない魅力を生む。

鳥取は、日本最古の神坐す霊峰大山を有するはじまりの地。
神話や霊界・修験道とのつながりのEdge（境界）であり、
歴史文化的には、大陸や北前船の交流を担ってきた日本のEdge（入口）であり、
地質学的には日本列島や日本海形成の過程を体験できる大地のEdge（縁辺）でもある。

鳥取とは、Edge/エッジを好む旅人（特別な嗜好や好みをもつSI Luxury層）たちが
魅力を再発見し、再評価される可能性のあるDestinationである。いま日本の「Edge/エッジ」が面白い。

HISTORY/CULTURE

大陸/海からの入口
「交流のはじまり」

この地は 韓国に向きて、笠沙の御前を真来通りて
朝日の直刺す国 夕日の日照る国なり（邇邇芸命）

渡来人

弥生の王国

北前船

GEO/NATURE

日本列島 形成の縁辺
「列島のはじまり」

日本海形成に関わる地層、地殻変動によって形成された
貴重な地形・地質遺産を観察できる（山陰海岸ジオパーク）

ジオパーク

鳥取砂丘

浦富海岸

島根・コアバリュー

神々の国の首都 = ロマン

- ・ 目に見えないもの：大国主命、小泉八雲
- ・ **祈り・感謝**
- ・ 神在月
- ・ 異日常：神事
- ・ 神話と自然の結びつき
- ・ 心のよりどころ

自然と営みの「循環」

- ・ **水**：大山、酒
- ・ たたら
- ・ 食（山と海の共生）
- ・ 小泉八雲とバーナード・リーチの関係
- ・ 地下資源
- ・ 豊かな大地
- ・ 穏やかかな自然環境
- ・ 地理的要因：日本海・大陸との交易

「はじまり」の地

「コト」「モノ」の始まり

「曖昧さ」が生み出した文化

- ・ **多義性**：神秘的、特別なことが起きない幸せ
- ・ 量子的：
- ・ **心の安らぎ**
- ・ この世とあの世の堺／境：黄泉比良坂
- ・ 用の美：民藝
- ・ 寛容：おもんばかり
- ・ あるがままに：干柿、板わかめ
- ・ 余計なことはしない
- ・ **調和・融合**：芸術、食

「はじまり」から人々が守り進化させてきた「循環」と「ロマン」

コトやモノのはじまりは神々の国と言われる地だからこそであり、だから八百万の神がこの地に集うのだ。
土地の成り立ちも神話で記され豊かな土地として、高層神殿・数々の国内最多と言われる遺跡が物理的に存在しロマンが広がる。
そして、現代へと循環により高度な産業技術や豊かな食、曖昧さが生み出す芸術文化がこの地に生きる。

鳥取・現状の評価・課題と解決方針

現状評価・課題

解決方針

ウリ

1.ターゲット認識の合意形成

・メインターゲットであるSpecial Interest Luxuryのうち、相性がよいのはSBNR層とArt Lover層。
 ・これまでの鳥取県全体の観光資源を考えると部分的な訴求と捉えられてしまうおそれもあるため、**関係者において高付加価値旅行者層向けのウリとしての合意形成が必須。**

2.コンテンツの磨き上げと全体的な底上げ ※以下、例示

○三徳山（修験道体験、座禅、精進料理）：**季節と天候の制限あり**。積雪時や雨天時は入山不可、
 選擇所からも鑑賞は可能だが、天候に左右される。住職による投入堂までの修験体験は安定した運
 営だが、**座禅、精進料理など含めたストーリー**はブラッシュアップが必要。

○民藝（工房見学・鳥取たくみ・民芸館）：鳥取単体ではなく、**瀬戸内、島根との連携・差別化**が
 必要。吉田璋也氏を軸にしたストーリーだけでなく、鳥取ならではの里山と暮らしとの関係、Edge
 感を担保した強みを考慮することが必要。

・更なる産業の取り込み（刃物、緋、因州和紙など）やターゲットの嗜好性にあわせて**Edgeの独自
 性、地域の文化や生活とのつながり、ストーリー設計**などをブラッシュアップしていく必要。

ヤド

富裕層を受け入れられる施設の拡充

Modern Luxury層もふくめた富裕層のニーズを満たすことができる宿の整備、拡充が必要
 必要な施設設備・目指す姿：

①全体面

広さ（目安：50㎡以上/2人 コネクティングルーム/家族）、価格感（目安：ホテル15万円以上、旅
 館であれば7万円以上）、グローバル評価（ブランド、SLH、Relais & Châteauxなど）

②ハード面：

プライベート感、インテリア質感・デザイン・地元カルチャー感、個室温泉・露天風呂、パーソ
 ナルな動線、ロケーション、十分なベッドサイズ

③ソフト面：

英語スタッフ対応、コンシェルジュ対応、パーソナライゼーション、エクスクルーシブ感、食事
 のカスタマイズやクオリティ

ヒト

1.地域コーディネーターの不在。

2.ガイドは、プレーヤーは少ないがエキスパート人材が存在、ただし現状では、**言語対応は難しい。**
 3.通訳案内士は数は少ないが候補人材が存在する。

コネ

現状で、鳥取への富裕層送客を行っているエージェントは少ないが、**体験特化型ツアーを行う会社
 やモニターツアー参加などで協力する県外/海外の事業者はある。**

アシ

1.ラグジュアリーなシームレス、快適でプライベートな移動を担保できる事業者は少ない。

Special Interest Luxuryのニーズに対応できるラグジュアリー車輛の保有運輸事業者は2社（アルフ
 ァード・エグゼクティブラウンジ/ハイエースビジネス仕様）

2.外国語/ガイド対応出来る運転手スタッフはおらず、**通訳案内士/添乗員とのチーム化が必要。**

1.体験コンテンツワーキンググループの形成

・今年度のマスタープランWGのメンバーに、**ガイドや体験事業者の方々も加えたコンテンツWG**を発足。
 ・ターゲットについての深掘り、共通イメージや合意形成、本事業を使ったコンテンツの磨き上げを図る。

2.観光コンテンツの活用・磨き上げ

・磨き上げのポイントは、以下を重点的に実施する。

①Edgeの独自性、文化や生活とのつながり ②ストーリーテラー/ガイドの人材育成、英語対応の強化 ③カスタマイズ・パーソ
 ナライゼーション、エクスクルーシブ感

・モニターツアーや先進事例視察調査を実施し磨き上げを図る。

3.県において補助制度「**観光コンテンツ造成支援事業**」を設け事業者等が行う磨き上げに必要な経費の一部を支援する。

4.他エリアを含めた戦略的な動線プランニング

SIL層を獲得していくためには、島根エリアと瀬戸内エリア、とくに民藝は両エリアとの差別化と連携が必須。三徳山も動線や移動
 の検討は必須であり、**広域での動線づくり**が重要。動線にあわせて戦略的な組み合わせ型コンテンツの検討が必須。

1.既存宿の設備・サービスの拡充

・ヤドについてのWGを組成し、ヤド開発、既存ヤドのブラッシュアップを進めていく。全体的なソフト面のブラッシュアップも進め
 る必要。

2.県において**宿泊施設の魅力向上を図る「宿泊施設整備支援事業」**を設け、事業者による施設改修等を支援。

3.マリオットホテルとの連携強化

・**鳥取砂丘（鳥取市）にマリオット・インターナショナルの最高級ブランド「ラグジュアリーコレクション」が開業予定。**

・リッツ・カールトンやエディンジョン・ホテルに比べ、ソフトブランドであり、デスティネーションのコンセプトに合った展開を求め
 るブランドであるため、**ターゲットやコアバリューの共有、連携**が有効。

4.シンボリックなデスティネーションホテル開発

・SIL層のニーズにあった滞在拠点を提供するために、**シンボリックなエリアにハブとなるデスティネーションホテルの開発**（ホテル
 宿泊が目的となる施設）が必要。

・大山嶽山地域は、**環境省が「国立公園における滞在体験の魅力向上のための先端モデル事業」の対象公園**に選定しており、今後、利
 用拠点を選定し、国立公園ならではの感動体験を提供する宿泊施設の誘致を含む利用拠点の魅力向上に取り組む予定で連携が有効。

1.地域コーディネーターの育成

・富裕層受入のためのワンストップ手配機能を構築。海外DMC等とのネットワーク構築による販路の形成。

2.候補人材の本事業への関与UP

・エキスパート人材・通訳案内士が、ウリを安定的に提供できる・語れることが必須。これらの人材に、「**体験コンテンツワーキン
 グ・グループ**」にも定期的に参画いただく。SIL層を受け入れていくモチベーションづくりや事業可能性の提示が重要。

3.エキスパート人材の発掘と育成

・**エキスパート人材の発掘と育成**を行っていく。あわせて、**通訳案内士が深くストーリーを語れるようになるための育成研修**を実施。

4.ハブとなるホスピタリティ人材の育成

・エキスパート人材・通訳案内士に加え、海外富裕層対応ができる**人材（特にヤドのコンシェルジュ）などの能力強化**を図る。

1.当該事業者へのニーズヒアリング調査

・現状で、各事業者が感じている鳥取の可能性やニーズについて、ヒアリング調査を行い、富裕層・SIL層取り込みの可能性を検証す
 るとともに、候補事業者の本事業への関与UPをめざす。

2.手配を担う地域コーディネーター等DMC機能を整備

・当該事業者と連携したモデル商品造成や送客を実現するためには、ローカル側での手配体制の整備が重要。
 ・既存人材（通訳案内士）や既存組織（西部・中部・東部DMO及び山陰インバウンド機構）、さらには島根エリアの事業者とも連携
 したチームでの受け入れ体制の整備を検討していく必要。

1.当該事業者へのニーズヒアリング調査

・当該事業者へのニーズヒアリング調査を行い、富裕層・SIL層取り込みの可能性を検証するとともに、候補事業者の本事業への関与
 UPをめざす。

2.当該事業者等への人材育成支援

・前述のヒト（ハブとなるホスピタリティ人材の育成）の活動において、アシを担う事業者も想定した形式とする。
 ・事業者内に、**若手人材、外国語対応人材**など、可能性のある人材がいた場合に育成を支援する。

3.県においてハイエンド車両の確保に係る経費の一部を支援予定。

4.広域での事業連携の検討

県内での育成と並行して、大阪・岡山等他地域への委託や連携を検討。ビジネスジェットの運輸会社や専門旅行会社と連携し、域外
 から本県への移動手段として**プライベートジェットやヘリを活用した実施検証**を行う。

島根・現状の評価・課題と解決方針

現状評価・課題

解決方針

ウリ

- 山陰には素材は豊富にあるが地域ブランディング化ができていない
- 一次産業及び伝統産業は、少子高齢化による承継が急がれる
- 消費者の生活様式・趣向性の変化による販売不振
- 質の高いガイドが不在

- 民藝協会、地域産業のマスタープロジェクトの開発（出雲・伯耆）
- 地域食材の価値を高めるため一流シェフとコラボしたツアーの開発（出雲・伯耆）
- 上記を含めた滞在型観光ツアーの開発及びモデル事業の実施（出雲・伯耆）
- 世界ブランドと地域産業のタイアップによる製品の開発（出雲・隠岐・伯耆）

ヤド

- 富裕層向けのホテル旅館が無い
- 質より量のビジネスモデル
- 食事も質より量の傾向が強い
- 人手不足によるサービスの低下
- 施設の老朽化

- 地域内の宿泊施設経営者との対話による高付加価値化の協働（出雲・隠岐・伯耆）
- 宿泊業高付加価値化のための循環産業の構築に伴う調査及び構想策定（リネン事業、セントラルキッチン事業）（隠岐）
- たたらの里における森を活用した宿泊施設の整備計画の策定（出雲：雲南）
- 城下町内における体験観光と連動した民藝の宿の開発（出雲：松江）
- 畑地区の干し柿の高付加価値化・農家の承継のためのオーベルジュ整備の検討（出雲：松江）
- 環境省国立公園における滞在体験の魅力向上事業の模索（伯耆：大山）

ヒト

- 質の高いガイドが不在
- 若手の優秀な従事者が少ない
- 質より量の地域観光経営に依存
- 地域への誇り、価値の高さの気づきが希薄

- 滞在型観光の高付加価値化に伴う熟練ガイドとのタイアップ及び地元スルーガイド育成モデル事業の実施（出雲・隠岐・伯耆）
- 観光人材の育成のための高等教育との連携事業の実施（出雲・隠岐・伯耆）

コネ

- 知名度がない
- 国際定期便がなく、首都圏とのアクセスも不便
- 受け入れる宿泊施設がない
- ガイドが少ない
- 多言語案内など未整備

- 海外のエージェントや銀行などへのセールス活動の実施
- 首都圏のランドオペレーター、スルーガイドとタイアップしたコンテンツの開発
- グローバルJVによる民藝等の高付加価値化による訪日機会づくり

アシ

- 国際線がない
- 主要都市からの定期便が少ない
- 新幹線がない
- プライベートジェット、ヘリのビジネスモデルがない
- 二次交通のモデルがない

- 近隣空港のプライベートジェット受け入れ態勢の調査及び利用条件の整理（出雲・隠岐）
- 地方と地方を結ぶ鉄道・航空事業者の可能性調査及びモデル事業の実施（出雲・隠岐・伯耆）
- 地域交通事業者と連携した質の高いシームレスな滞在交通の構築（出雲・隠岐・伯耆）
- 環境に配慮したまち中二次交通（まつトック）の開発（出雲）

鳥取・島根 推進体制

緊密な情報共有・連携

※推進体制（案）

合意形成機能

とっとり観光未来共創会議

事務局：鳥取県観光交流局

アクションプラン作成→事業推進機能

① 体験コンテンツワーキング・グループ

- ・主にウリの領域を議論・事業開発を推進
- ・候補メンバー（案）：

DMO：麒麟のまち観光局、鳥取中部観光推進機構、大山観光局
山陰インバウンド機構など

ガイド：観光再始動事業で候補となったガイド

事業者：三徳山関係者、民藝関係者など（DMOとの調整）

② 宿泊高付加価値化ワーキング・グループ

- ・主にヤドの領域を議論・事業開発を推進
- ・候補メンバー（案）：

DMO：麒麟のまち観光局、鳥取中部観光推進機構、大山観光局
山陰インバウンド機構など

事業者：旅館、ホテル

③ 人材育成ワーキング・グループ

- ・主にヒトの領域を議論・人材育成を推進
- ・候補メンバー（案）：

DMO：麒麟のまち観光局、鳥取中部観光推進機構、大山観光局
山陰インバウンド機構など

ガイド：観光再始動事業で候補となったガイド、通訳案内士
事業者：地域コーディネーター、観光事業者

④ アシ改善ワーキング・グループ

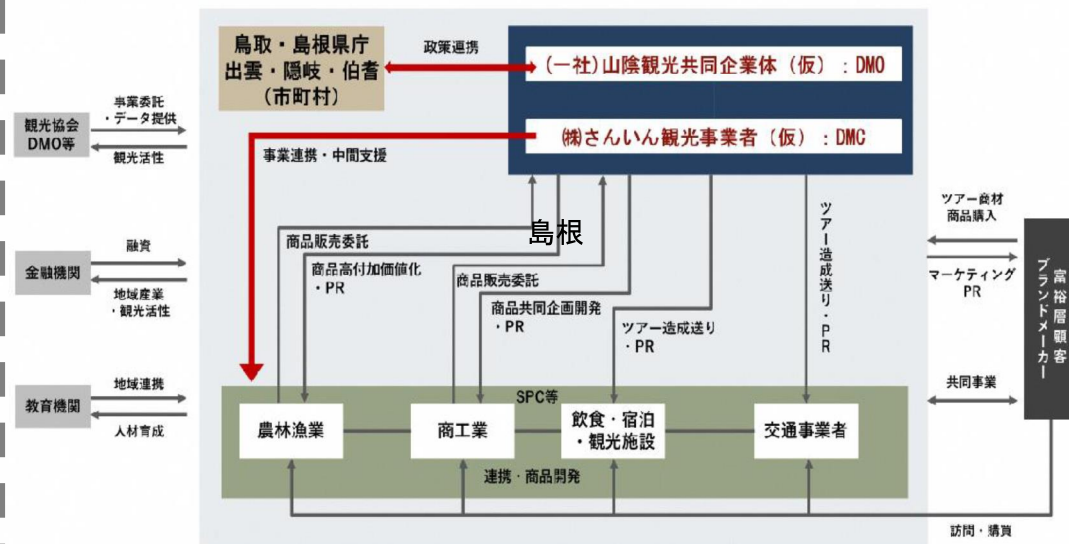
- ・主にアシの領域を議論・移動整備を推進
- ・候補メンバー（案）：

DMO：麒麟のまち観光局、鳥取中部観光推進機構、大山観光局
山陰インバウンド機構など

事業者：交通事業者

島根（出雲・隠岐）& 伯耆：推進体制（案）

域内観光経済循環の構築



鳥取：今後の工程表

	2023	2024	2025	2026	2027
全体	<ul style="list-style-type: none"> 関係者意見交換 価値の整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> 各ワーキング形成 販売・手配体制の構築に向けた検討 MP更新 	<ul style="list-style-type: none"> 販売・手配体制の試行 MP更新 	<ul style="list-style-type: none"> 販売・手配体制の確立 MP更新 	<ul style="list-style-type: none"> 自立した観光地経営 MP更新
ウリ	<ul style="list-style-type: none"> 現状整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> 体験コンテンツワーキンググループ形成 コンテンツ磨き上げ モニターツアー 	<ul style="list-style-type: none"> シンボリックなコンテンツの磨き上げ 旅行商品開発 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行商品策定 広域動線でのプランニング 	<ul style="list-style-type: none"> セールス検証 販促活動
ヤド	<ul style="list-style-type: none"> 現状整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> 現状調査 宿高付加価値強化ワーキンググループ形成 	<ul style="list-style-type: none"> シンボリックなディステーションホテル開発 	<ul style="list-style-type: none"> マリオット開業(予定)連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> セールス検証 販促活動
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 現状整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> 現状調査 通訳・ガイド人材等育成研修・交流、本事業への関与UP 	<ul style="list-style-type: none"> エキスパート人材の発掘・育成 	<ul style="list-style-type: none"> ハブとなるホスピタリティ人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値ターゲット向けインバウンド対応強化
コネ	<ul style="list-style-type: none"> 現状整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> 富裕層旅行社等へのニーズヒアリング 体験コンテンツワーキンググループ形成 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の手配を担うランドオペレーション機能/DMC機能整備 	<ul style="list-style-type: none"> 広域での動線づくり 	<ul style="list-style-type: none"> セールス検証 販促活動
アシ	<ul style="list-style-type: none"> 現状整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者へのニーズヒアリング、現状調査 ビジネスジェットトライアルツアー 人材育成研修 	<ul style="list-style-type: none"> 移動整備 	<ul style="list-style-type: none"> 移動整備 広域での事業連携の検討 	<ul style="list-style-type: none"> セールス検証 販促活動

島根・工程表

	2023	2024	2025	2026	2027
全体 (推進体制)	<ul style="list-style-type: none"> 協議会設立準備協議会、勉強会等による事業周知 	<ul style="list-style-type: none"> 組織の格上げ ※法人化に向けた準備 参画企業の増強(伯耆、隠岐地方) 以下事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ファンドの構築 法人の設立準備 以下事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 法人の設立運営 以下事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 法人の設立運営 以下事業の推進
ウリ	<ul style="list-style-type: none"> 地域素材の整理 コンテンツ磨き上げ MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> ファムツアーの実施 コンテンツ磨き上げ 課題抽出と整理 ブランディングと地域内共有 	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ磨き上げ 順次商品販売 	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ磨き上げ 順次商品販売 	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ磨き上げ 順次商品販売
ヤド	<ul style="list-style-type: none"> 現状整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎調査(ホテル・旅館) 課題整理(ホテル・旅館) 新たな宿事業構想策定 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の改善構想策定 新たな宿事業計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の改善計画策定 新たな宿事業実施計画策定 * 地域進捗状況により事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の改善事業実施 新たな宿事業実施
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 現状整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> 通訳案内士を活用したガイド、ホスピタリティ人材育成研修及び交流 ステークホルダーとの関係性構築 	<ul style="list-style-type: none"> ガイド、ホスピタリティ人材の育成事業実施 教育機関と高度人材教育についての協議、検討 	<ul style="list-style-type: none"> ガイド、ホスピタリティ人材の育成事業実施 教育機関と高度人材教育についての計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ガイド、ホスピタリティ人材の育成事業実施 教育機関と高度人材教育事業の実施
コネ	<ul style="list-style-type: none"> 現状整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> ファムツアー実施による販路開拓 ニーズ調査 DMC体制稼働準備(DMO・行政との連携) 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のバイヤーとの関係性づくり 情報のアップデート ターゲット市場の商談会参加 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のバイヤーとの関係性強化 情報のアップデート ターゲット市場の商談会参加 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のバイヤーとの関係性強化 情報のアップデート ターゲット市場の商談会参加
アシ	<ul style="list-style-type: none"> 現状整理 MP策定 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎調査 課題整理 	<ul style="list-style-type: none"> 既存交通事業の改善について協議、検討 鉄道と航空の新たな活用事業の協議、検討 	<ul style="list-style-type: none"> 既存交通事業の改善について計画策定 鉄道と航空の新たな活用事業の計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> 既存交通事業の改善事業実施 鉄道と航空の新たな活用事業の実施